

平成16年度
国民年金免除申請受付中

手続きは毎年必要です！

申請が承認されると、申請をした日の前月から平成17年6月までの保険料が免除されます。☑
去年に引き続き、免除を希望する方は8月までに申請をして下さい。

平日に來れない方は・・・8月29日(日) 午前9時～午後6時 市役所窓口を開けます!☑
(平日の午後5時以降でも受付できる場合もありますので、お問い合わせください。)☑

★ 免除の判定基準☑

☑
☑

★ 必要なもの

本人と配偶者及び世帯主の前年所得を基準として判定されます。☑
その他にも、天災・失業・倒産等を理由とするときは考慮されます。☑

① 認め印☑

② 失業・退職した人の場合は、雇用保険の「離職票」・「雇用保険受給資格者証」・☑
「退職証明書」のいずれか1つ☑



未 納

こんなに違う！全額免除と未納

免 除

資格期間に入りません☑

年金を受けるための資格期間には?☑

資格期間(25年)に入ります☑

年金額に反映されません☑

受け取る年金額には?☑

3分の1の金額を納めた扱いになります☑

年金を受けられない場合があります☑

障害年金や遺族年金を受ける時には?☑

納付と同じ扱いになります☑

※半額免除制度もあります☑

お問合せ先：宜野湾市役所 市民課年金係 ☎098-893-4411(内線114・117)☑

るくがちぬちなや、いるしでむぬ



パイプラインで行われていた☑
当時の真志喜の綱引き。(1991年8月4日)☑

旧暦の六月を迎えると宜野湾市内でも綱引き行事の準備が始まります。現在でこそ伝統的な綱引きを継承しているのは真志喜と大山のみですが、戦前は市内の二四の字で綱引きが行われていたといえます。綱引きは字をあげての大事業でした。そのことは綱引き歌にも歌われ、タイトルの「るくがちぬちなや、いるしでむぬ」はその歌詞の二例です。☑

戦前の綱引きは、子どもから大人までがそれぞれの役割を担って行っていました。綱の材料となる藁を各家庭から集めるのは子ども達の役割

でした。準備の段階から組中一丸となつて取り組むので、強い団結力が生まれ、それと同時に綱引き勝負に向けた闘争心も強まっていたようです。綱引き当日、旗頭のガーエー勝負、ト一セー、アギエーなどでさらに気持ちを高め、最高潮を迎えて綱を引き合います。「綱引きでの争いは後腐れが無い」とされ、このときぞとばかりに日頃のうっぷんをはらす人もいたようです。☑

面白いエピソードもあります。藁集めの際、藁を出し渋る家ではわざと家畜小屋の前で大きく鳴り物を鳴らしたて、家畜が騒ぐのにたまりかねた家主から藁を回収したとか。綱引き勝負で尾の部分を街路樹などにくくりつけて相手が引っ張れないようにしたなど、ちょっとした工夫から心を垣間見ることが出来ます。☑

綱引きは、地域の豊作や繁栄を願う行事とされていますが、人びとの団結を強めたり、ストレスを解消する場でもあり、そういった意味からも字の大切な行事だったといえるでしょう。☑

「宜野湾市史」の問い合わせ☑
教育委員会文化課 ☎893・4431

茶 ちゃー ☑

ぐわーゆんたく ③

